



◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様にご提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。



新年のご挨拶



年頭のご挨拶



病院長 黒岩 敏彦

新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて厚生労働省は、将来の医療施策の1つに2025年を日産に地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。これからの時代は病院を退院した後、住み慣れた馴染みの深い地域で医療や介護を受けていく、在宅医療の推進が社会的な機運になっていきます。本院におきましてもこうした社会的ニーズに対応できるように「訪問看護ステーション」を平成27年1月に立ち上げました。本院での治療を終えた患者さまが、安心して在宅で過ごすことができますように取り組むことを強めてまいります。今後、はより一層地域の医療機関、介護施設、行政等との連携を密に取りながら展開を進めていく次第です。また、平成27年1月から難病対策の改革が実行されます。これに伴い、本院でも難病の患者さまに対して各科横断的・疾患横断的な看護や介護などを含めたサポートができますように、「難病総合センター」を開設いたしました。

地域に根差し、安心と安全を信頼と納得の得られる看護サービスを目指して



看護部長 西山 裕子

新年あけましておめでとうございます。この度、平成26年6月1日より、前任の小野恵美子副院長・看護部長の後を引き継ぎ、看護部長の重任をお受けすることになりました。この場をお借りして、一言挨拶申し上げます。振り返りますと、大阪医科大学附属看護学校(大阪医科大学看護学部 前身)を卒業し、病院の歴史とともに看護人生を一筋に歩んでまいりました。その時々に患者さまやご家族、ともに働く仲間等々、多くの方々にご指導・ご支援、ご支えをいただきました。あらためて心より感謝申し上げます。大阪医科大学附属病院看護部は、80余年の歴史の中で一貫して「患者さま中心の看護」を掲げ、邁進してまいりました。そのパトンを継ぐ者として果たすべき使命を真摯に受け止め、顧客に選ばれた大阪医科大学附属病院で良かったと一言で言いたくなる病院、職員に選ばれたことに勤務して良かったと思ってもらえる病院づくりに貢献してまいります。

私たちを取り巻く超高齢化は、医療・介護に対する社会情勢の大きな変化とともに、高齢者の生活不安に対して、安心して暮らし続けるための在宅支援、安心して療養生活をしていただくための入院支援を、地域の中で急性期医療から在宅への中核施設としての役割を果たすべく、連携強化に努めます。新年からは訪問看護部門が開設いたします。お一人お一人が病をもちながらも人らしく生活を送ることができるよう、包括的な取り組みの充実をはかっていきたいとします。本年は、医療の質と安全の向上を目的として一定の基準に基づき、中立の立場から医療施設を評価する「病院機能評価機構」の5年ごと更新の3年度目の審査を受ける年となります。職員一同体として取り組み、現状を客観的に謙虚に見つめ直し、さらなる改善に向けて医療・看護の質の向上を目指す所存でございます。

PET 検査機器導入のお知らせ

中央放射線部 石浦 基文



PET検査は、臨床現場に登場した以降、多くのがん・心疾患・脳疾患の診療に欠かすことのできない重要な検査となっております。本院におきましては2014年10月に高性能PET/CT装置(Discovery PET/CT 710 GEヘルスケア・ジャパン社製 図1)を導入し、¹⁸F-FDG検査による検査を開始しました。



図1 PET/CT装置(Discovery PET/CT 710 GEヘルスケア・ジャパン社製)

PET/CT装置

PETとはPositron Emission Tomography(陽電子放射断層撮影法)の略で「ペット」と呼ばれ、陽電子というガンマ線を放出する物質を含む検査薬静脈注射後、検査装置で体内のガンマ線を検出し、検査薬の体内分布を画像化する技術を指します。がんをはじめ臓器の働

きといった生理学的な機能画像を断面画像として捉えることができ、脳疾患・心疾患・早期/転移がんの発見に大変役立つほか、治療経過観察にも有効です。一方、CTとはComputed Tomography(コンピュータ断層撮影法)の略で、身体に엑스線を照射し、透過した엑스線を検査装置で検出し、画像化する技術を指します。高い精度の解剖学的形態画像を断面画像として捉えることができます。PET/CT装置は、より高度な診断情報を得るためPET(機能画像)とCT(形態画像)の両者の特性を一体化したハイブリッド装置です。また本装置では、CT検査による被ばくを最新技術により従来の半分程度にまで低減しております。

¹⁸F-FDG検査薬

本院のPET検査で使う検査薬は¹⁸F-フルオロデオキシグルコース(¹⁸F-FDG)と呼ばれ、ブドウ糖の類似体(フ

ルオロデオキシグルコース: FDG)にフッ素(¹⁸F)を標識したものです。ブドウ糖は身体の細胞のエネルギー源で、脳や心臓はブドウ糖を使って活動するため、大量のブドウ糖を取り込み、がん細胞は正常な細胞の3~8倍ものブドウ糖を取り込みます。¹⁸F-FDGを投与すると、全身にブドウ糖が取り込まれる様子を観察できることから、脳や心臓、がんなどの病気の診断に大変役立つ検査薬とされています(図2)。

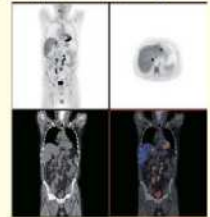


図2

検査概要

¹⁸F-FDGを静脈注射後、しばらくの間安静にいただただけで全身を広く調べることができる身体面へのご負担の少ない検査です。検査内容などにご不明な点がございましたらPET-RI検査室までお気軽にご相談ください。

市民公開講座

第6回 平成26年12月20日

知ってますか?緩和ケア

緩和ケアチーム・化学療法センター 桑門 心



日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が亡くなる病気、それが「がん」です。

1. 緩和ケアについて

がんになったとき、からだやこころの苦痛を和らげる方法があることをご存じですか。緩和ケアは、がん治療と一緒に大切な医療で、苦痛が和らげば、生きる勇気がわいてきます。

これまでの緩和ケアは、一般に治療を望むことができないがん患者さまのためのものでした。しかし、現在の緩和ケアは、病気の早い段階から行われます。治療ができないから緩和ケアが始まるわけではありません。がんと闘うときも、治療を望まなくなっても緩和ケアは役に立つことがあります。がんに立ち向かうとき、がんとともに過ごしていくとき、体力と精神力を保ち自分らしい生活をするために心身の苦痛を取り除くことが大切になります。緩和ケアは、病期の早い段階から開始され、治療と並行して行われ、病状進行に伴い徐々にその割合が増えていくというものです。あなたの療養生活の質を向上させるために緩和ケアを活用してください。

2. 当院の緩和ケアチーム・緩和ケア外来について

さまざまなことに取り組む緩和ケアは多職種からなるチームで行っています。当院では、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・臨床心理士・薬剤師・理学療法士が緩和ケアチームのメンバーであり、主治医や看護師と共同し、患者さまのさまざまなニーズに取り組んでいます。入院では緩和ケアチームを、外来では緩和ケア外来をご活用ください。

3. 話すこと

「話す」は「話す」につながるものであり、「話す」ことにより自分の心のわだかまりやしこりが解き放たれるということがあるとも言われています。さまざまな苦悩で気持ちがつかなくなった時、「話す」ことで気持ちが変化することもあるようです。



図1 がん治療と緩和ケアの関係



図2 チーム医療の図

第5回 平成26年11月15日

がん治療と栄養

NST委員会、一般・消化器外科 李 相雄



なぜ「がん」になるの?

今、日本人の2人に1人が「がん」になるといわれています。人の体は60兆個の細胞からできていますが、毎日、細胞分裂によって新陳代謝が行われています。生まれてきた細胞の中には遺伝子に異常のある細胞がありますが、その多くは自ら消滅するか、白血球等の免疫細胞に退治されます。しかし、加齢による遺伝子の劣化に加えて、飲酒や喫煙、慢性的な感染症等が原因となり遺伝子の異常が集積すると、やがて、がん細胞が誕生します。大きさ1cmの初期がんは10億個のがん細胞からできていますが、それには10～20年の歳月がかかります。

なぜ「がんの治療」に「栄養」?

「がん」が進行すると、半数の人は体重が減少します。さらに、抗がん剤や放射線、手術等の治療によって正常細胞もダメージを受けて体重減少が進みます。体重減少はがんの治療成績に影響を及ぼすことがわかっています。例えば、体重減少が著しい人は抗がん剤治療を続けることが難しくなり、十分な治療効果が得られません。また、私たちの生活環境に存在する微生物も弱った体への感染を招いています。つまり、がん治療では体重や筋肉量を落とさずに体力を維持することが大切なのです。

どのような「栄養」が良いの?

治療効果を上げるには特定のサプリメントに頼るのではなく、3大栄養素(蛋白質、脂肪、炭水化物)を中心としたバランスの良い食事を心がけ、がん治療に備えることが大切です。毎食、主食(メイン料理)・副菜(野菜料理)をとるようにし、食事摂取量の低下による体重減少を防ぎましょう。

大阪医科大学健康科学クリニック PART2

健康診断のお勧め

健康科学クリニックでは、人間ドック(基本コース・女性コース・肺コース)、脳ドック、脳ドックプレミアムを設定しています。その他に臓器別コースとして心臓ドック・肺ドック・肝臓ドックなどのセットも用意しております。今回は、代表的な人間ドック・脳ドックのコース内容を説明したいと思います。

1. 基本コース(一般的な人間ドックコース)

コース内容は身体計測に加え、血圧測定・血液検査・眼底等の眼科系検査・聴力・心電図・胸部X線検査・腹部エコー・胃の検査等、生活習慣の検査項目を幅広く網羅したコースです。万人向けのオールラウンドなコースで初めて健診を受けられる方ももちろん、毎年の定期的な健診としてお勧めできるコースです。

2. 女性コース

基本コースにマンモグラフィ・乳腺エコー・子宮頸部細胞診・経腔エコーを追加したコースです。乳がんは日本の女性の16人に1人がなるといわれていますが、早期発見なら約90%が完治します。また、子宮頸がんは20～30代の若い世代にも急速に増えていることが問題になっています。しかし、子宮頸がんは定期的に健診を受けることで前がん状態や早期がんの時に発見でき、治療・完治できやすいため若い世代の女性にもお勧めします。

3. 肺コース

基本コースに胸部CT検査と喀痰細胞診検査を追加したコースです。肺がんは初期には症状がなく、自覚症状が現れた時はかなり進行しています。症状が出る前に、精度の高い胸部CT検査を受けられることをお勧めします。

4. 脳ドック

脳MR検査に加えて、動脈硬化に関連する血液検査や頸動脈エコーなどがセットとなります。脳卒中は日本人の死亡原因の第3位です。脳の動脈硬化等を心配される方は、一度脳MR検査を受けられることをお勧めします。とくに高血圧、高脂血症、糖尿病等がある方にお勧めです。

5. 脳ドックプレミアム

脳ドックの検査内容に加え、認知症の早期診断のために特殊MR検査(VSRAD)と数種の知能評価スケール検査を追加したコースです。認知症の傾向または疑いがあるかを判定します。もの忘れが増えた等の症状がある方にお勧めです。

詳しい内容はホームページ(<http://www.omchsc.jp/index.html>)または健康科学クリニックのパンフレット(附属病院初診受付)をご参照ください。皆さまのご来院をお待ちしております。

訪問看護ステーション 開設のお知らせ



訪問看護ステーション設置推進委員長 小野恵美子

新年明けましておめでとうございます。皆さまとともに、新しい年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、わが国は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には超高齢社会となり、慢性疾患や認知症等の増加が予測されています。

一方、厚生労働省においては2025年(平成37年)を目標に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

これらのことを踏まえ、患者さま、ご家族の皆さまが、安心して在宅で過ごすことができますように、本院を退院された患者さまを中心とした在宅支援を目的として、大阪医科大学訪問看護ステーションを開設することにいたしました。開設につきましては、地域医療機関、介護施設、行政等々との関係各位の皆さま方とのネットワークを密にしながら、地域医療の発展に努めている所存でございます。利用者の皆さま、関係各位の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

院内コンビニ ファミリーマートのご紹介

落ち着いたカフェスペースでゆっくりどうぞ

西通路1階のファミリーマート(母店)には、皆さまにおくつろぎいただけるカフェスペースを併設しています。お食事やご休憩にぜひご利用ください。院内コンビニならではの豊富な品ぞろえと、ホスピタリティあふれる接客で、皆さまのご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

- 母店営業時間 7時～22時(年中無休)
- サテライト店(正面玄関入口)
- 平日8時～18時
- 第1、3、5土曜日8時～15時
- 銀行ATM、コピー・FAX、各種料金支払い、宅急便、切手・はがき、季節商材のご予約販売等、幅広くお取り扱いしております。



病院ボランティアの活動紹介

その2

～第7回病院ボランティア総会開催～

平成26年10月20日に7回目となる病院ボランティア総会が、由緒ある歴史資料館で行われました。総会では、病院ボランティアグループ「ふれあい」の28名の方々へ、日頃の感謝を込めて病院長から感謝状と記念品の贈呈がありました。表彰式の後、栄養部森本課長から「栄養部の役割と機能について」の講演が行われ、交流会、懇親会(お茶会)と和やかに親睦を深められた1日でした。

